

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立 多摩永山中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒206-0025
東京都多摩市永山2-7-1
 E-mail : _____
 Website : http://www.tama.ed.jp/nagachu/
 児童生徒数：男子 160 名 女子 145 名 合計 304 名
 児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【報告1】

「岡山市－多摩市ユネスコスクール子どもみらい会議2014」について

1 目的と概要

- ・ユネスコスクール同士が交流を活発に行い、ESDを推進していく。
- ・岡山市と多摩市のユネスコスクールで学んだ代表生徒がこれまでに学習してきた内容を踏まえて、「平和」をテーマに意見交流をする。
- ・最終的に、「中学生平和宣言」としてまとめ、「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム主催事業「ESD地球市民村」でスピーチを行う。(8/22国連大学)
- ・会議の通信手段は、ベネッセコーポレーション東京本部(多摩センター)のテレビ会議システムを使用する。

2 参加校

多摩市立多摩永山中学校・多摩市立東愛宕中学校・岡山市立京山中学校

3 日程

日時	場所	予定	内容
7月上旬 放課後	2階学習室	代表生徒 打ち合わせ	「平和」について今まで学んできたことを代表生徒4人で話し合う。
7/19(土) 午前10:00~12:00	ベネッセコーポレーション 東京本部(多摩センター)	各校からの 学習発表	各校20分ずつ
7/26(土) 午前10:00~12:00	ベネッセコーポレーション 東京本部(多摩センター)	「平和」をテーマにした会議①	
8/2(土) 午前10:00~12:00	ベネッセコーポレーション 東京本部(多摩センター)	「平和」をテーマにした会議②	最後に、会議した内容を「中学生平和宣言」としてまとめる。
8/22(金) 午後	国連大学	中学生平和宣言を 発表	多摩市の発表時間8分 (動画3分+スピーチ5分)

☆国連大学での発表原稿(8/22)

〈生徒A〉

はじめまして、こんにちは。

みなさんは、「平和」について考えたことはありますか? 「平和」な社会と聞いて、どんなことを思い浮かべますか?

岡山市立京山中学校、多摩市立東愛宕中学校、多摩市立多摩永山中学校の3校から16人が集まり、3回の「ESD子どもみらい会議」を通して、「平和」について議論してきました。

最初は漠然としたテーマで悩みましたが、話し合っって深く掘り下げていくうちに、「平和」についての考えもはっきりしてきました。話し合っって出た意見や結論を、今回この場を借りて発表したいと思います。

まずは会議の様子をビデオをご覧ください。

～ビデオ上映～

～京山中から会議の流れ紹介～

平和宣言

〈生徒 B〉私たちは、多面的・多角的な視点から、より正しい情報と知識を持つようにします。

私たちは、平和を実現するために的確な判断をしていくには、正しい情報と知識が必要であると考えました。

例えば戦争のような状況にあった場合には、広く多くの人たちに正しい情報が伝わるのが困難になってしまうことがあります。過去の歴史を学ぶ中で、私たちは自分にとって良いことであっても都合が悪いことであっても、可能な限りの情報を得ることの大切さを知りました。

また、正しいと思った情報でも、別の視点から見ると違った見方ができることもあります。私たちは、今こそいろいろな人との交流を通して、物事を多面的・多角的な視点から見直すことが平和を創造することにつながると思います。

そして、今回「子どもみらい会議」で話し合う中で、「平和」について考える大切な情報や知識をたくさん得ることができました。

～東愛宕中、京山中から平和宣言～

～東愛宕中・京山中から交流事例の紹介（ビデオ放映しながら）～

ビデオ放映後

〈生徒 C〉私の学校では国際交流として「留学生の話を聞く会」があります。私たちはその会のおかげで、異国文化に触れ理解を深めるとともに、新たな考えを持つことができます。

多くの人がそういう機会を持つために、私はテレビ番組を制作するのはどうかという考えを持ちました。例えば、中学生同士で番組をつくり、その出演者は日本人だけでなく、他国の人とともに「異国文化を理解する」という目的でバラエティー番組を運営するというものです。

そうすれば中学生を中心に高校生・小学生が興味を持ち始めるようになり、お互いの差別意識をなくすことにつながるのではと思いました。

～東愛宕中からまとめ～ 終わり

【報告 2】

平成 26 年 11 月 5 日から 8 日までの、「ユネスコスクール全国大会」に生徒が参加し声明を読み上げた。

「私たちは 3 年生から平和宣言の内容を 2 学期に受け継ぎました。

その中の「情報をつかむこと」の努力について発言したいと思います。

2 年生は「伝えよう東京」をテーマに都内めぐりの班学習をしてきました。

私たちの班は外国の方々に直接インタビューすることにしました。

自分たちの英語が伝わるのか不安でいっぱいでしたが、浅草や原宿などで聞きました。

英語が多少間違っても日本の良さや感想をわかるように私たちに教えてくれました。

その中で日本の自販機はおつりが出てくることに驚いたなどがありました。

そして 9 月からの道德の授業では国際理解について学習し、ガーナに赴任していた青年海外協力隊の方のお話を聞きました。

色々驚くことばかりでしたが、「違いがあるのは当たり前、共通していることは何なのか考えてほしい」とおっしゃいました。

また、識字問題についても考えました。字の読めなかった人も私たちも、どちらも幸せになりたいと考えていることは共通なのだ、などの意見がクラスで出ました。

海外に目を向けてみると知らないことがたくさんあるのがわかります。

これからもさまざまな情報を出来る限りつかみ考えていこうと思います。」

